

団体名	NPO法人 維新隊ユネスコクラブ	活動タイトル	食事つき個別指導型無料塾「ステップアップ塾」	
望ましい社会状況および団体のビジョン（社会的役割と活動基盤）			■ 活動風景	
●地域の望ましい社会状況(ビジョン)	生まれ育った環境によって受けられる教育に格差が生じてしまう「教育格差」を是正し、家庭の経済的・人間関係の困難（貧困や家庭不和、ひとり親家庭の社会的孤立、等）や学校環境の困難（学級崩壊、不登校、等）に関わらず、子ども自身が希望する学びの機会を得られ、希望する進路を選択し挑戦することができる「機会の平等」が実現されている社会をめざす。		<div data-bbox="1666 236 2123 507" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1529 379 1659 432">オンラインでの 通常授業の様子</p> <p data-bbox="1709 547 2051 600">小5～中3までの塾生20名に対し、個別指導を実施している。</p>	
●団体の社会的役割(ミッション)	私たちの社会における役割は、家庭的・社会（学校）的困難を抱える子どもでも通うことができる無料の学びの場を提供し運営することで、全ての子どもたちにとって「機会の平等」が実現された社会に向けての足掛かりとなることである。そのため、以下のことに取り組む。 ①子ども自身が希望すれば得ることができる「無料の学びの場」の提供 ②心身の健康を増進させ、社会性と自己肯定感を育み、自己効力感を持ちうる「自力を育む場」の提供			
●団体の活動基盤	<ul style="list-style-type: none"> ◆人材育成：学生ボランティア講師については、引き続き東京ワセダロータリークラブからの協力を仰ぎリーダー育成プログラムへの参加を通じて、学生講師サークルの運営ができる人材を育成する。また「ステップアップ塾設立マニュアル（仮）」を作成し、塾運営者の研修会を実施し、管理者の育成を行う。 ◆リソースの確保：食材や教材・会場等、支援企業・団体からの協力を得て、継続的に確保する。 ◆活動資金：会員拡大を通じて会費を安定的に確保していく他、自主事業を新たにスタートさせることで活動資金確保につなげる。 ◆ナレッジ：塾運営の中で得られた知識やノウハウを「ボランティア講師・スタッフマニュアル」に反映させる他、「ステップアップ塾設立マニュアル（仮）」に反映させ、役立てていく。 			
■ 活動報告		■ 1年間の目標に対する達成状況		
<p>◆学習指導</p> <p>全体的に計画通りに実施でき、高校受験合格者の輩出や学力向上を実感する人の割合も目標を達成することができた。後半では新型コロナの影響でオンライン授業に切り替えたが、多くの塾生が学力や意欲の向上を実感しており、概ね目標を達成できた。</p> <p>◆食事提供</p> <p>前半では予定通りに食事の提供を実施でき、健康の増進につながったとの回答が約半数となった。後半では食事提供ができなくなり、協力団体からの食材提供における情報の提供に留まった。</p> <p>◆ワークショップと課外授業</p> <p>全体的にほぼ計画通りに実施することができ、自己肯定感等の向上につながったとの回答が75%程度と概ね目標を達成できた。後半ではオンラインでの実施となったが、約半数が自己肯定感等の向上を実感している。</p> <p>◆マニュアルの作成と説明会・研修会の実施</p> <p>説明会及び「無料塾設立マニュアル(仮)」の作成に取り組んだが、新型コロナの影響で新しい日常に即した方法での開催ができるようマニュアルの見直しを継続中。</p>	<p>◆学習指導</p> <p>①年間授業数44回 ②2名の中3生が第一志望の高校に合格／アンケートの結果「成績が上がった」と親55.7%、塾生82.6%が回答</p> <p>◆食事提供</p> <p>①9～2月末まで24回の食事提供、4～8月末まで食材提供の情報の提供を実施。 ②前半のアンケート回答結果から「風邪をひかなくなった」と親約62.9%、塾生52.2%が回答した。</p> <p>◆ワークショップと課外授業</p> <p>①年間で31回実施 ②アンケート結果から、自己肯定感：親42.9%が向上したと回答／自己効力感：親50.0%が向上したと回答／社会的規範に対する意識：親61.5%が向上したと回答</p> <p>◆マニュアルの作成と説明会・研修会の実施</p> <p>①年間でボランティア説明会を2回実施、「自習室設立マニュアル(仮)」の作成中 ②無料自習室の拠点増(現在2拠点)、ボランティア登録者が年間でのべ180名</p>	<div data-bbox="1666 683 2123 962" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1529 810 1659 879">オンライン授業での 講師MTGの 様子</p> <p data-bbox="1693 986 2085 1070">授業前と授業後に全員参加のMTGを行い、当日のワークショップ内容の確認と授業後の報告の時間としている。</p>		
■ 事業を通じて得られたノウハウ	■ 望ましい社会状況を達成するための課題			■ 活動成果のアピールポイント
<ol style="list-style-type: none"> オンライン授業への参加の仕方や授業の進め方については既にまとまっており、初めてオンライン授業に参加する塾生やボランティア講師も、スムーズに参加することができている。 ボランティア講師間の情報共有をオンライン上で行っており、その利用ガイドも作成済。 ボランティア講師から塾生への連絡事項について、塾生それぞれの教室や掲示板機能をホームページ内に作ることで行うことができている。 これまでの半年間のオンライン授業の中で得られたノウハウ（オンラインミーティングアプリのより便利な使い方、塾生とのコミュニケーション、単元ごとの指導の仕方、など）をまとめた講師マニュアルを現在学生ボランティア講師が作成中。 家庭での通信環境を整えることが難しい子どもが新たな格差の底辺に追いやられており、その受け皿として自習室が機能している。 アンケート調査の結果から、オンライン／オフライン授業に共通して求められていることが把握できている。 	<p>私たちの望む社会とは、全ての子どもたちが希望をすれば挑戦する機会が得られるという「機会の平等」である。そのため、まず学習の機会が家庭や学校など大人の与える環境によって限定されてはならないと考え、①「無料の学びの場」②「自己を育む場」の提供を実現すべく無料塾ステップアップ塾に取り組んできた。</p> <p>しかし、昨今の新型コロナの影響により、経済的要因・家族関係的要因・学校環境の要因に加え、通信環境の要因という新たな格差を生む要因が生じてきており、看過できない問題であると考えている。通信環境の問題、とは、単に経済的要因によって家庭の通信環境を整えることができるか否かに留まらず、保護者のリテラシーの問題も大きく関わる問題である。家庭の通信環境の問題に対しては、自習室での受講という受け皿を用意することができたが、一方で自習室にも通信環境にもアクセスできない子どもにどのようにアプローチしていくかが今後の課題である。</p>			<p>この1年間の活動を通じて</p> <p>延べ66人の小中学生において、全体の7割程度の学力向上と全体の5割程度の自己肯定感・自己効力感・社会性の向上</p> <p>を達成しました。</p> <p>■ 受益者の具体的な変化（効果測定結果等）</p> <p>「ありのままの自分を受け入れてくれる場所ができたことで、学びに対する意欲が向上した」「一週間の計画を立てるようになった」「自分から勉強についての質問ができるようになった」「塾の先生たちをお手本にして心が育っているように感じている」「コミュニケーションが上手になってきたと感じる」など、保護者から多数の声が寄せられている。</p>